

新着情報 / イチオシ!

M OVIE

『シリア・モナムール』

2011年、アラブの春に始まった民主化運動。シリアでは政府軍による市民への弾圧が激しさを増していた。本作のモハンメド監督は、亡命先のパリで、故郷シリアの凄惨な状況に苦悩しながらも、自分にできることは何かを探していた。そして、インターネット上にあふれる現地の虐殺や拷問の様子を記録した映像をつなぎ始めた。そんな中、彼はインターネットを通じて、シリア在住のシマヴという女性と出会う。「もしあなたのカメラがシリアにあったら何を撮る?」。そう問い掛け、監督の耳目となりカメラを回すシマヴ。その瞬間から二人の“映画”と“愛”の物語が始まっていく。



©2014 - LES FILMS D'ICI - PROACTION FILM

2014年 / シリア・フランス / 1時間36分
 監督・脚本：オサーマ・モハンメド、ウィアーム・シマヴ・ベデルカーン
 公開：6月上旬よりシアター・イメージフォーラム（渋谷区）ほか全国順次公開
 URL：www.syria-movie.com/
 配給：テレザとサニー

E VENT

『きれいな水がなかったら —世界の衛生問題と取り組み—展』

日本では、いつ、どこでも手に入るきれいな水。しかし、世界には水不足に苦しむ人や、安全な水を使うことができない人がたくさんいる。JICA横浜では、そんな世界が抱える水と衛生の問題について、「見て」「聞いて」「触って」楽しく学べる企画展を開催している。世界で使える水の量はどれくらいなのか、普段消費している食料品にはどれくらいの水が使われているのかなどについて、体験型の展示物を使って視覚的に紹介。その他、青年海外協力隊が活動する国のトイレ事情も知ることができる。



会期：3月5日（土）～6月13日（月）
 場所：JICA横浜 1階ギャラリー・2階JICAプラザよこはま
 問：JICAプラザよこはま
 TEL：045-222-7161
 URL：www.jica.go.jp/yokohama/

B OOK

『ケニアへかけた虹の橋 30年の国際ボランティア活動』

1980年代以降に増えたというケニアの孤児たち。原因は、人口の都市集中やHIV/AIDSの流行などにあった。1985年に設立されたNPO法人「少年ケニアの友」は、孤児院への食料支援やHIV予防啓発活動、奨学金、職業訓練など、幅広い活動でケニアの子どもたちの自立を後押ししてきた。実際にボランティアに取り組んだメンバーが語るケニアとの思い出や、子どもたちに対する愛情を集めた1冊だ。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

NPO法人
「少年ケニアの友」編
春風社
1,980円(税込)

B OOK

『ゆめのはいたつにん』

両親に愛されて幸せに育ち、絵本や映画を愛して育った著者。映画を作る仕事に携わりたいと思いが、なかなか夢の実現に結び付かずにあいまいな日々を送っていたが、ある日、自分ではなく誰かの夢を後押しすることを決意した。食べ物や薬のような生きる手段ではなく、夢という生きる目的をカンボジアの農村に届けるために、手探りで試行錯誤を繰り返した日々を振り返る自伝。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

教来石小織 著
センジュ出版
1,944円(税込)